

科目名		授業形態	担当教員名	
吃音 I (概論、小児)		講義	久保田 功	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
吃音の基本的な知識や臨床に必要な技術について学ぶ。 吃音のある小児とその養育者を支援し、将来を見通した臨床を行うための考え方を身につける。				
授業の到達目標				
現在知られている吃音についての妥当と思われる情報を学生が習得し、言語聴覚士として吃音臨床に取り組むための哲学、技術を身につける。				
授業計画				
回	内容			
1	吃音についての基礎知識			
2	小児期から成人期までを見通した吃音の理解			
3	小児期吃音の評価①			
4	小児期吃音の評価②			
5	小児期吃音の臨床 (年少幼児～年長幼児・学童期前半)			
6	小児期吃音臨床の実際・事例提示 (年少幼児～年長幼児・学童期前半)			
7	小児吃音の臨床 (学童期後半～思春期)			
8	小児期吃音臨床の実際・事例提示 (学童期後半～思春期) ・まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	授業内容をどの程度正確に理解できているか。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
吃音・流暢性障害のある子どもの理解と支援	小林宏明・川合紀宗 編著		学苑社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				